

いめんやす

同窓会訪問記・山城十七回

新緑の美しい銀閣寺界隈。五時半になってもまだまだ明るい六月初旬、銀閣寺橋のすぐ横に画家の橋本関雪がアトリエとしていた記念館「白砂村荘」の門をくぐる。美しく手入れされた庭園が見事である。

卒業以来、四十年ぶりという初めての同窓会が開催されました。卒業生全員への連絡もままならず、百名程度にしか声が掛けられなかったのに、集まったのは七十名にもなった。顔と名札を見合わせて再会の感嘆の声があちこちであがる。

次々と出される料理もそこそこに、近況やなつかしい学生時代の話、友の消息などと話し声は止むことがなかった。あつという間の一時を惜しみながら閉会となりました。